

医学コースで実際の「医療」というものがより具体的に感じられた

H. O.

東京医科大学 医学部 医学科 進学

ひたちなか市立 長堀小学校 卒業

医学コースに所属して得られたことは、実際の現場を見ることや現場の人達から直接話を聞くことで「医療」というものがより具体的に感じられるようになったことです。特に心肺蘇生講座では、少人数形式で細かいところまで教えてもらうことができ、いざという場面に遭遇した時でも落ち着いて行動できるという自信ができました。また同時に、医師でも看護師でもない自分でも人の役に立てるのだなとうれしく感じました。高校3年では、志望理由書の添削、小論文や面接の対策を十分にさせていただいて、安心して受験に臨めました。

中学、高校での部活動の経験は、自分の中で一番大きな財産となっています。困ったときはみんなで助け合い、話し合いながら乗り越えていくことの面白さ、そして、仲間と切磋琢磨しながら、同じ目標に向かって努力することの大切さを学びました。部長としてバスケット部のために何ができるのか、どうしたらより良い方向へと進んでいけるのかを考え、悩んだかけがえのない日々は、大人になっても忘れることはないでしょう。

茨中・茨高の良いところは、競い合いながら成長していくことができる仲間、そして、親身に教えてくれる先生方がいることです。毎朝学校に行けば、朝早くから本を読んでいる友達がいたり、下校時間ぎりぎりまで勉強をしている友達がいたりします。そのような姿を見ると、自分も頑張らなくちゃ、と思わされます。このことが自分をより良い方向へと変えてくれたと強く実感しています。また、職員室に行けば、どの先生からも優しく真剣に教えてもらうことができ、さらに成長することができました。このような素晴らしい環境で学べたからこそ、私は行きたい大学に進学することができるのだと思います。感謝の気持ちを忘れずに、次は自分が周りに良い影響を与えられるよう努力していきたいです。

私の夢は、病気で苦しむ患者さんとそのご家族を笑顔にすることです。そのために、大学で6年間医学について学び、卒業して研修を積んだ後は、小児科医として働きたいと考えています。茨中・茨高で得た学びを活かしながら、知識・技量・人望どれも欠かすことなく身につけ、みんなから信頼される医師になりたいです。